

氏名	伊草綾香	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	母子保健に関する研究、働く母親に関する研究、女性のライフスタイルに関する研究				
学位	博士（健康科学）				
学歴	2012年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科、2020年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻博士前期課程看護学専修、2023年埼玉県立大学大学院博士後期課程保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻				
経歴	2018年日本保健医療大学保健医療学部看護学科助手、2021年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科地域看護学助教				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本公衆衛生看護学会、日本小児保健協会、日本保健福祉学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共著	あり		子ども教職研究8巻 P3-9	○関美雪, 上原美子, 佐藤玲子, 石崎順子, 柴田亜希, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏	2025.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	乳幼児を持つ父親のワーク・ライフ・バランスに関連する要因の検討	共同	第71回日本小児保健協会学術集会・北海道札幌		○関美雪, 柴田亜希, 石崎順子, 丹野祐美, 伊草綾香, 黒澤恭子		2024年6月
2	COVID-19の影響下における保健師学生の卒業時の到達度による教育評価ー地域の健康課題の明確化と計画・立案する能力に着目してー	共同	日本地域看護学会第27回学術集会・宮城県仙台市		○柴田亜希, 石崎順子, 丹野祐美, 伊草綾香, 関美雪, 服部真理子, 黒澤恭子		2024年6月
3	第1子の乳児を育てる父親のワーク・エンゲイジメントと仕事の資源との関連	共同	日本地域看護学会第27回学術集会・宮城県仙台市		○関美雪, 柴田亜希, 石崎順子, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子		2024年6月
4	保健師として就業している卒業生のネットワーク構築をめざしたキャリア支援の実践	共同	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会・愛知県名古屋市		○柴田亜希, 菊池宏, 丹野祐美, 伊草綾香, 黒澤恭子, 関美雪, 石崎順子, 服部真理子		2025年1月
5	中学校の体育的部活動に着目した障害事例の検討 - 学校等事故事例検索データベースを用いた分析 -	共同	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会・愛知県名古屋市		○関美雪, 上原美子, 柴田亜希, 石崎順子, 伊草綾香, 丹野祐美, 黒澤恭子, 菊池宏		2025年1月
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（スタート支援）	第1子乳児をもつ母親の育児リカバリー経験尺度の開発			研究代表者		2024年4月～2026年3月

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護展開論Ⅰ（母子保健）	○	8	母子保健の現状と課題とそれに対する対策として、母子保健法に準拠したしくみを理解できるよう工夫し講義を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護技術Ⅰ		8	相談及び家庭訪問、乳幼児健診における援助技術の演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。
2	公衆衛生看護技術Ⅱ		8	地区診断で分析した健康課題をふまえて健康教育の立案・実施・評価までの演習を行った。
3	地域看護学Ⅲ		9	在宅看護における看護の特徴と看護過程の展開方法について、事例を用いた演習を行った。
4	地区診断論		9	健康課題を明確化するために、実習地を事例としたデータを用いた演習を行い、公衆衛生看護学実習の実践につながるよう工夫した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	公衆衛生看護学実習		2024年4月～6月	公衆衛生看護の活動の特徴と保健師の支援方法の理解が深まるよう指導した。
2	地域看護学実習		2024月10月～12月	訪問看護師の役割の理解や、地域包括支援センターの役割について理解につながる課題を提示しディスカッションを行った。
3	総合実習		2024年7月	地区診断を踏まえた保健師活動の企画実施評価までのプロセスの学習と公衆衛生看護活動における保健師の役割の理解を深めた。
4	IPW実習		2024年10月	IPW実習の目的に沿って、所属の異なる学生が、意見を出し合い、ディスカッションできるよう学習支援を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024年5月～2025年3月	主指導	2副指導0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	保健師就職支援	2024年4月～6月	保健師就職を希望する学生に対して、面接指導を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県新任期保健師研修	埼玉県	相談支援の基本とキャリアラダーを用いた活動の評価	2024年6月 2024年12月
2	埼玉県立大学オープンカレッジ講座 卒業生等支援講座「卒業生保健師勉強会」	埼玉県立大学	保健師としての知識やスキルアップを目指した勉強会を3回開催した。 1.「児童虐待について/明日へのTIPS!」 2.「リエイブルメント」 3.「学校と教師の特別支援教育の実践に学ぶ発達支援の観点」「明日へのTIPS!」	2024年7月 2024年10月 2025年3月
3	春日部市民講座講師	春日部市	「子育て講座 親子の相互作用でココロとカラダをヘルスアップ!」	2024年7月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	該当なし			

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	4年生担任として学生の進路相談・国家		2024年4月～2025年3月
2	大学広報活動	オープンキャンパス		2024年8月
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			